

米不足・米価高騰は続くのか？ 食・農業の危機を考え、さらに行動へ

【新婦人オンライン学習会】



農水省前で米を守れと声をあげる農民連と新婦人、国会議員 (2024年9月)



農民運動全国連合会 (農民連) 会長
長谷川 敏郎

新日本婦人の会中央本部は2月26日、農民連の長谷川会長を講師にオンライン学習会を開きました。講演要旨を紹介し

米不足を否定する政府

農水大臣が備蓄米の放出を表明しましたが、「2024年産米は増えている」「在庫が分散して供給が滞っていない」と米不足を認めません。しかし、昨夏の米騒動は、23年産米の生産量661万トに対し、需要量705万トという米不足が原因です。

食と農は歴史的岐路に

この20年間で米作りは生産縮小の大きな要因は、基幹的農業従事者の減少です。2022年で16万人にまで減少し、その8割が60歳以上、20年の調査では80歳以上が23.6万人です。今後20年間で30万人まで減ると見られます。

農作物の高騰は、気候による不作だけでなく、野菜も果樹も生産そのものが減っているからです。日本の食と農は、いま歴史的な岐路に立っています。

減反強制と高温障害で

コロナ禍の2020年、米が20万トほど余った。米作りの経費上昇の大きな原因は、化学肥料、種、農業の値段

市場原理主義の結果

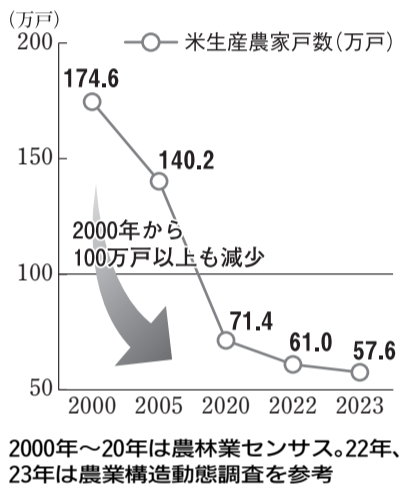
しかし、農家がどう努力しても国の米農業政策が間違っていた。猛暑日が続きました。高温障害で米の出来が悪く、通常80%あった1等米の比率は60%まで落ち込みました。

軒並み減少する作付面積

指定野菜	2022年産の作付面積 (単位: ha)	ピーク時からの増減	
		増減 (単位: %)	ピークの年
ダイコン	2万8100	▲63	1973年産
ニンジン	1万6500	▲34	1985年産
ジャガイモ	7万1400	▲51	1973年産
サトイモ	1万100	▲70	1973年産
ハクサイ	1万6000	▲65	1973年産
キャベツ	3万3900	▲22	1981年産
ホウレンソウ	1万8900	▲31	1988、89年産
レタス	1万9900	▲13	1991年産
ネギ	2万1800	▲14	1973、99年産
タマネギ	2万5200	▲18	1985年産
キュウリ	9770	▲65	1973年産
ナス	7950	▲68	1973年産
トマト	1万1200	▲42	1980年産
ピーマン	3170	▲34	1982年産

長谷川農民連会長の講演は、新日本婦人の会中央本部ホームページ(ニュース)からYouTube視聴することができます。

激減する米生産農家



2000年～20年は農林業センサス。22年、23年は農業構造動態調査を参考

輸入自由化で大打撃

2000年から世界貿易機関(WTO)協定で農産物の関税をなくす方向が決まり、さまざまな協定による貿易自由化で、日本の農産物輸入は、1999年の7兆円が、22年には13兆円へ。その分、日本の農業生産が縮小したのです。

食料自給率目標もない

食料・農業・農村基本法の具体化として発布された計画草案に、食料自給率の数値目標がありません。農業従事者を何万人にする

会社でひとり働きながらたたかう

AGCグリーンテック裁判

女性 働く

(月1回)

裁判をおこなった後も、同じ会社で働き続けることは並大抵ではない。提訴後から仕事外が始まった。現在いる一般職女性の処遇はそのまま、新しく総合職の女性を採用し、私の直属の上司とした。私は仕事を外され、情報や連絡をもらえなくなり、仕事の打ち合わせにも参加させてもらえなくなった。

労働者と雇用者が対等の立場で



「自分は管理職の職務内容で入社している。管理職の仕事がしたい」と言ったら、「あなたにできる管理職の仕事はない」と言われた。上司は、部下を育成しキャリアアップさせる気はまったくない。会社は、会社に意欲する自分のような労働者を排除することを目的に、関心に追いつけず、自主退職するかに仕向けられている。無視した行為だと思つた。

現在の人事評価制度はそれぞれ個人目標と達成計画を立てさせ、その難易度と実績で評価する。仕事を取上げられた私は個人目標が立てられない。立てられなければ評価されない。結果、昇給につながらない。女性活躍と言われながら、スタートにも立てない状況となった。

二子岡ちよだ 小林瑞美子(仮名)

先口、厚労省と懇談し、CEDAWの勧告を法改正に生かしてほしいと訴えた。立場の弱い労働者が、会社から有形無形の圧力や追い込まれ、会社にいらなくなる。ひどくなる心の病気で健康を害し、辞めたくないのに辞めなければならぬ選択を迫られる。会社が従業員を辞めさせないしくみを作り、労働者と雇用者が対等の立場で職場の改善を話し合い、仕事することができるようにする。今でも会社は当然のように続ける男女差別ハラスメント。おかしいことは声をあげ続けていくしかないと思つている。(この項おわり)

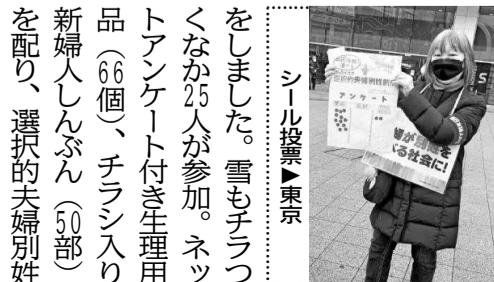
ホットライン



「震災でお世話に」と募金▲岩手

岩手 大船渡市火災支援募金行動

【県本部 若山なつ子】3月3日、「大船渡市火災支援募金」行動に共同でとりくみました。3・11東日本大震災で被災された方は、当時は多くの人に世話になったと募金してくれました。寒いなか、ポケットから手を出して募金を寄せる人もいました。



シール投票▲東京

宮城 声をあげ、行動を起こし

【古川支部 鈴木すみ子】国際女性デーの3月8日、商店街で手作りの横断幕を掲げマイクを握りスタンディング。道行く女性や車から手を振る人もいて、元気をもらいました。その後、仙台での県民集会「久道珠未さん講演(弁護士)」にも参加しました。

鳥取 18人で宣伝

さまざまなプラスターを手に▲鳥取

【境港支部 三原真由美】県母親大会西部地区連絡会は3月8日、国道沿いの広場で集会を開き、18人がミモザの生花とプラスターを持ち参加。委員長の国際女性デーについて、ジェンダー、国賠運動、年金、学校給食、法など6人がリレースピーチ。最後に中央スピーチ。空は「青い空」を合唱しました。前日、会員からスタバ(スターバックス)に国際女性デーのメッセージボードがあったとのLINE情報があり、帰りにスタバへ。10人がミモザの花も届け、ボードに書かれていたサインプレートをいただきました。なごり会に。

東京 ジェンダー15署名とシール投票

【大田支部 佐藤鈴子】3・8国際女性デーは、蒲田駅で昼休み宣伝行動

大盛況でした▲沖繩

【大田支部 佐藤鈴子】3・8国際女性デーは、蒲田駅で昼休み宣伝行動

【大田支部 佐藤鈴子】3・8国際女性デーは、蒲田駅で昼休み宣伝行動

【大田支部 佐藤鈴子】3・8国際女性デーは、蒲田駅で昼休み宣伝行動

大盛況でした▲沖繩

【安芸支部 安藤礼子】3月2日、12回目の「わすれない! 3・11」を開き、講師を含む37人が集まりました。公民館だけでなく、参加者が、会員外から7人の参加がありました。

大阪 班の地域の小中学校を訪問

【大阪狭山支部大野台班 長尾加代】班の地域の小・中学校をそれぞれ5人の会員で訪問しました。タブレットが授業に取り入れられる視力の低下が見られるために、保健室前には「こんな距離間

大盛況でした▲沖繩

編集部メールアドレス s-press@shinfujin.gr.jp



「未来は変えられる」▲広島

【大阪狭山支部大野台班 長尾加代】班の地域の小・中学校をそれぞれ5人の会員で訪問しました。タブレットが授業に取り入れられる視力の低下が見られるために、保健室前には「こんな距離間

【大阪狭山支部大野台班 長尾加代】班の地域の小・中学校をそれぞれ5人の会員で訪問しました。タブレットが授業に取り入れられる視力の低下が見られるために、保健室前には「こんな距離間

大盛況でした▲沖繩

通信ありがとう

【大阪狭山支部大野台班 長尾加代】班の地域の小・中学校をそれぞれ5人の会員で訪問しました。タブレットが授業に取り入れられる視力の低下が見られるために、保健室前には「こんな距離間

【大阪狭山支部大野台班 長尾加代】班の地域の小・中学校をそれぞれ5人の会員で訪問しました。タブレットが授業に取り入れられる視力の低下が見られるために、保健室前には「こんな距離間

大盛況でした▲沖繩